CT 造影検査用　　【様式９】

ヨード造影剤使用に関する説明書

あなたが受けられる検査では、ヨード造影剤の注射が行われます。この説明書をお読みになり、ご不明な点は主治医や担当の医師・看護師に質問していただき、納得されましたら問診票に記入していただいたうえ、同意書に署名をしてください。

○ 造影検査について

造影剤は内臓の状態や病気の性質を詳しく知るため画像に濃淡をつける薬剤です。検査時に腕などの静脈から注射をします。安全に造影剤を使用できるかどうかは主治医および検査担当医が慎重に判断していますが、ほかの薬剤と同様に時として副作用があることをご了承ください。ごくまれに生命にかかわる副作用が生じますが、造影剤を使うことは病気の診断や治療方針を立てるうえで大変有用となることをご理解ください。

○ 造影剤の副作用について

＊軽い副作用（頻度 1～12%）

掻痒感（かゆみ）、悪心（吐き気）、嘔吐、蕁麻疹など

＊重篤な副作用（頻度 0.001～0.22%）

呼吸困難、血圧低下、意識障害など

これらの症状は造影剤の使用直後から 1 時間以内に生じることがほとんどですが、造影剤使用時間から数日後に蕁麻疹などの副作用が生じる場合があります（遅発性副作用）。軽い副作用であれば治療を要さない、もしくは 1~2 回の投薬や注射で回復するものがほとんどですが、重篤な副作用を生じた場合は入院のうえ治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があります。10～20 万人に 1 人の割合（0.0005～0.001%）で死亡する場合もあります。

検査中はスタッフが状態を注意深く観察していますので、体調に異変が感じられたらすぐに申し出ください。

検査中に体熱感（体の中が熱くなるような感じ）を受けられる方もおられますが、これは正常な反応であり、副作用ではありませんのでご安心ください。

また、帰宅後に蕁麻疹などの副作用（遅発性副作用）が生じた場合は、下記までご連絡ください。

連絡先　　兵庫県立丹波医療センター　☎ 0795（88）5200 代表

○ 造影剤に対する副作用の予知について

初めて造影検査を受けられる方、または今までに造影剤を使用して副作用のない方が今回の造影検査で副作用を起こすかどうかをあらかじめ調べる方法は現在のところありません。ただし、気管支喘息やその他のアレルギーの既往のある方、今までに造影剤で副作用を起こしたことのある方などは造影剤の副作用が生じる頻度が比較的高く、症状が強く出る場合があります。また、その他の疾患によって造影検査ができないこともあります。

同意書へのご署名がある場合でも検査担当医の判断により造影検査を行わない場合もあります点をご承知おきください。